

## TOWS 分析（クロス SWOT）：機器製造業（冷凍機応用製品・空調・冷凍冷蔵施工）

### 【S×O 戦略】（強みを活かして機会を掴む）

- ・既存の施工・メンテナンス体制と高信頼製品を活かし、ZEB 対応建築への冷暖設備一体提供を進め、脱炭素需要を取り込む。
- ・業界に先駆けて IoT による予兆保全モデルを開発し、B2B 顧客向けに“ダウンタイムゼロ”を実現する新たなバリュープロポジションを構築。
- ・医療や食品物流業界に特化した冷凍ユニットを“安全・安心”ブランドとして訴求し、高付加価値市場でのプレゼンスを強化。

### 【W×O 戦略】（弱みを克服して機会を掴む）

- ・就労環境を Z 世代向けにデザインし直し（柔軟勤務、デジタル化、意義重視）、若手エンジニアの獲得に注力。
- ・IT 人材との協業・外部連携を強化し、自社の DX 遅れを補完しながらスマートファクトリー化を実現。
- ・設計思想や技能の属人化を DX ツールで体系化し、継承の難しさを逆に差別化資産として活用。

### 【S×T 戦略】（強みで脅威を回避）

- ・他社が未対応の脱炭素基準や GWP 規制に先行対応し、“対応済み”認証を強みに価格競争を回避。
- ・安定供給・保守力を武器に、コモディティ製品との差別化を行い、“選ばれる理由”を明確化。
- ・協業ネットワーク（建設・物流・医療業界）を活かして、部材調達や規制対応を横断的に乗り越える。

### 【W×T 戦略】（弱みと脅威の複合リスクに対処）

- ・旧製品依存体制を抜本的に見直し、廃番製品をリプレース型ビジネスモデルへ転換しリスクを収益源に転化。
- ・施工人材の高齢化対策として、技能映像・AR マニュアル等を用いた“半自動技術伝承”体制を構築。
- ・サプライチェーンリスク分散のため、国内部材比率を引き上げ、地産地消型生産にシフト。